

クマを引き寄せないために…  
クマに出会わないために…  
もし、クマに出会ったら…  
いったい、どんなことに気をつけたらよいのでしょうか？

# ツキノワグマとの 遭遇事故を 防ぐために

ーツキノワグマについて、学び、理解し、考え、遭遇事故を防ぐー



滋賀県



クマってどんな動物？



森に棲むクマは、普段なかなか見ることができませんが、里にも現れることがあります。本来は森林に棲む生き物で、広域的な行動範囲（大人の雄グマの行動範囲は約 30 ~ 100k m<sup>2</sup>）をもっています。また、多様な環境にまたがって暮らすことから、アンブレラ種と呼ばれます。

※アンブレラ種：行動圏が広く、かつ多くの生物が必要とする多様な環境を必要とする種で、その種を保全することが、生態系を保全する指標とされる種。

## ニホンツキノワグマ *Ursus thibetanus japonicus*

（ツキノワグマの日本産亜種）

※本州、四国に広く分布するクマの一種。ツキノワグマ（別名アジアクマ）は、地域によっていくつもの亜種に分けられている。日本産の亜種はニホンツキノワグマである。



分類：哺乳類 食肉目 クマ科

分布：東～東南アジア

体長：約 110 ~ 130cm

体重：約 50 ~ 100kg

※夏場は好きな食べものも少なく、軽いことが多い。

視力：あまりよくないといわれている。

聴力：非常に優れている。

嗅覚：非常に優れている。

性格：基本的におとなしく臆病であるが、突然出会うと攻撃してくる恐れがある。

得意なこと：木登り、水泳 ※走りは人よりも速く、時速 40km 以上

生息環境：森林

※春：山菜などを食べる。 夏：繁殖期でオスや若い個体の行動圏が広がる。

活動時期：春～晩秋 積雪時は冬眠 秋：重要な採食期で、冬眠に備え沢山の餌を求めて遠出することもある。

餌場：沢沿い、ハチやアリの巣のあるところ、ドングリ、ブナの森

Q クマは、どんなものを食べてるの？

A 春は山菜や木の新芽、初夏はネマガリタケのタケノコ、夏はウワミズザクラの実、秋は堅果類（ブナ、ミズナラ、コナラ、クリなど）をよく食べます。特に堅果類が不作の年には、クマは人里に出没しやすくなります。クマの好む植物と結実する季節をしっかりと理解しておくことも大切です。

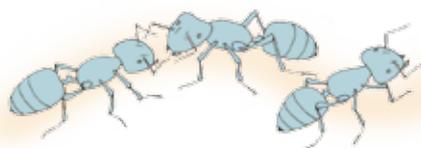


食肉目でありながら、植物食を主とする雑食性です。中でも、はちみつやハチの子が大好物で養蜂被害が発生するため、電気柵の対策が必要です。また、昆虫類を食べる他、山で死んだシカなどの動物の死体を食べることもあります。

<p><b>春</b></p> <p>フキ・セリ・アザミなどの草 ブナなどの新芽</p>	<p><b>夏</b></p> <p>ウワミズザクラの実 ハチ・アリなどの昆虫類 若いオグルミの実</p>	<p><b>秋</b></p> <p>アケビ・サルナシなどの実 キノコ類・ブドウ類 ブナ・ミズナラ・コナラ</p>	<p><b>冬</b></p> <p>冬眠中は何も食べない</p>
--	---	---	-----------------------------------

Q クマはなぜ里までやってくるの？

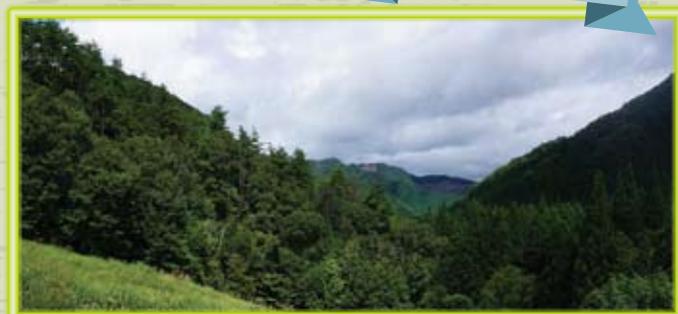
A 最大の原因は、エサとなる植物、特に堅果類の不作だと考えられています。堅果類の量は年によって大きく変動し、その不作の年の秋に出没が多いことが知られています。また、里山の変化も出没が増えた原因の一つと考えられています。昔、里山の木や草は、薪や田畑の肥料として盛んに利用され、動物と人里とを隔てる緩衝帯がありました。しかし、近年は、人が里山を利用しなくなり、里の近くまでうっそうとした森林が広がり、クマなどの野生動物が里に出てきやすくなりました。



### 里山の変化



大正時代：尾根筋などで、わずかに樹が見られます。



2016年：山は樹木に覆われています。

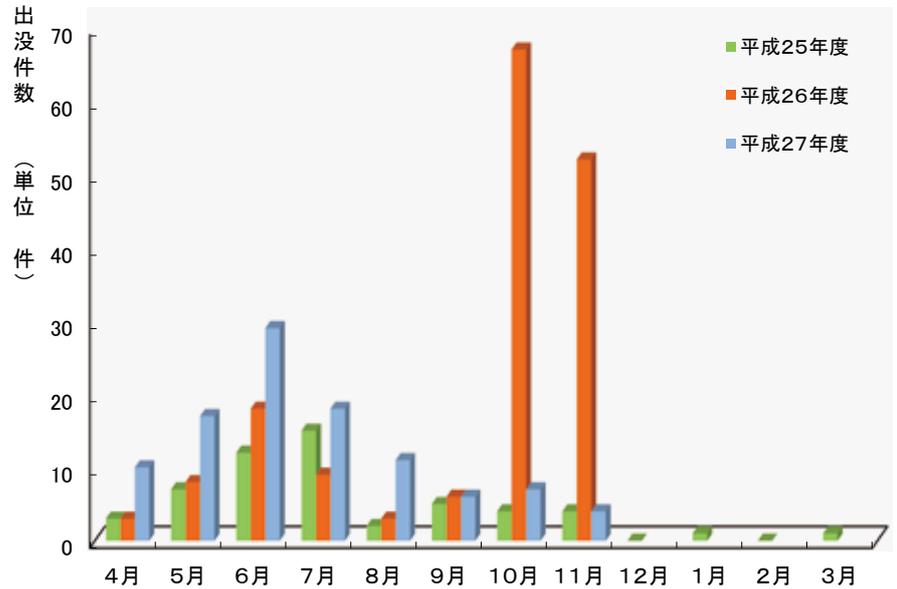
**Q** 最近、里にもクマがよく出てくるようになりました。クマの出没を予測することはできないのですか？

**A** クマの行動に関して、各方面で研究されていますが、個体差もあり予測は難しい状況です。ただし、秋の大量出没については、堅果類の豊凶と相関関係があることが分かっており、調査結果の情報提供をしています。



毎年堅果類の豊凶調査を行い、秋の大量出没の予測を行っています。

結実状況	H25	H26	H27
ブナ	凶作	凶作	不作
ミズナラ	不作	凶作	並作
コナラ	不作	不作	不作

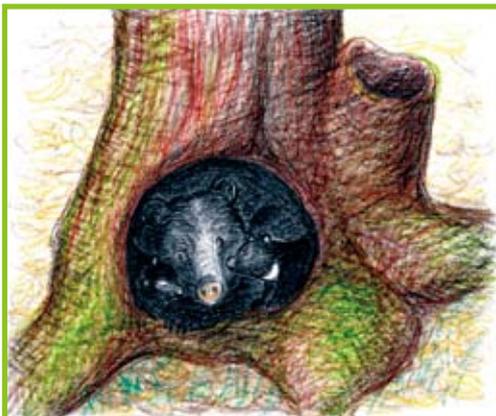


**Q** クマと出会わない、遭遇事故にあわないためにどうすればいいの？

- A** まず、クマのいる場所に近づかないために、
- ①クマの餌となる植物がある場所に、特に実のなる時期にはその近くに行かない。
  - ②クマの出没情報のあった場所の近くには不用意に近づかない。
  - ③クマと出合いやすい時間帯の屋外での行動を控えるようにする。

また、クマの棲息する場所に入る場合は、

- ④鈴を鳴らすなどクマに自分の存在を知らせる。
- ⑤聞き慣れないうなり声を聞いたら先に進まない。
- ⑥クマの残した糞や新しい爪痕など、フィールドサインを見逃さない。
- ⑦見通しのきかない登山道や山林内では、周囲の情報に注意を払う。



木の洞や山中の小屋に潜んでいることもある。



日暮れ時から翌日の明け方までは、クマの行動が活発化する。



曲がり角、沢沿い、藪の近くや藪の中、雨の日などは、人もクマも気づくのが遅れる。



子グマは人間に近寄ってくることも!  
 親からはぐれた子グマに決して近寄らない。近くに親グマがいることもある。

食べ跡を見つけたら、すぐに立ち去り、近づかない。食べものに執着しているときは、その場に長く留まったり、再度戻ってくることも!

子グマを見かけたら速やかに離れる。親グマは子グマを守ろうと攻撃的になるので危険。



### 音で人がいることを知らせる

- ・鈴をつける
- ・時々笛を吹く
- ・空のペットボトルをたたく
- ・歌を歌う
- ・手をたたく
- ・ラジオをならす

### 五感を働かせて周りの情報収集をする

目で見る、音を聞く、においを感じることで、自然の中の様々な情報を集める習慣を培うことも大切です。

### フィールドサインを知る



クマの糞  
木の実の種が多い。ただ、季節により異なる。



たくさんのクマ棚



クマ棚



クマはき跡  
クマは上から下へ、シカは下から上にはく



ミツバチの巣を襲って食べた跡



ブナに残る新しい爪痕  
3~4本の線が平行につく



ブナに残る古い爪痕



アシウスキの巨木の根元にできた洞を巣穴に利用

Q 里にクマを寄せ付けないためにはどうすればいいのですか？

A ①誘引物（家庭ごみ、柿など）の除去・囲い込み

- ・家庭ごみを外に置かない、ごみ出し場所を金属ケースで囲む等、ごみの管理を行う。
- ・野外活動施設では、ごみが放置されていないか等の点検・管理を徹底する。
- ・趣味で行っている養蜂箱はまとめて電気柵で囲む。  
（可能な限り、クマの出没が予想される集落付近から遠ざける。）
- ・庭や畑にある柿の木などは、電気柵で囲んだり、トタンを巻く等の対策を行う。収穫されず管理されていない果樹は、可能な限り伐倒して除去する。
- ・家庭菜園のコンポストや家畜、ペットの餌などの管理に注意する。

②農地・果樹園等への出没防止対策

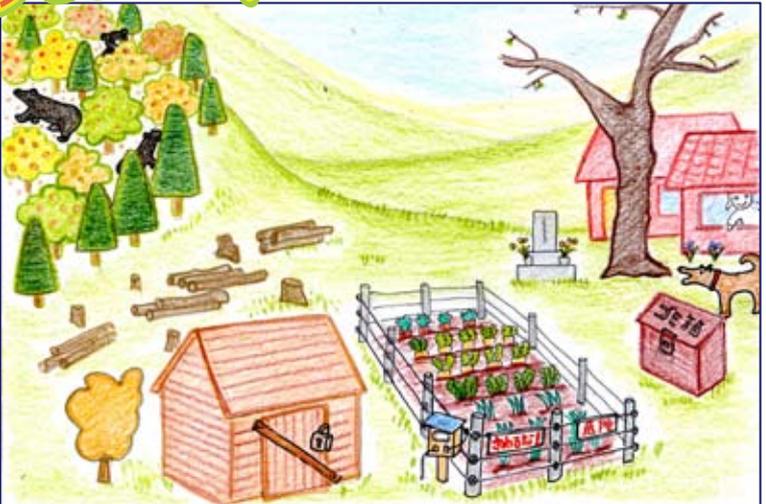
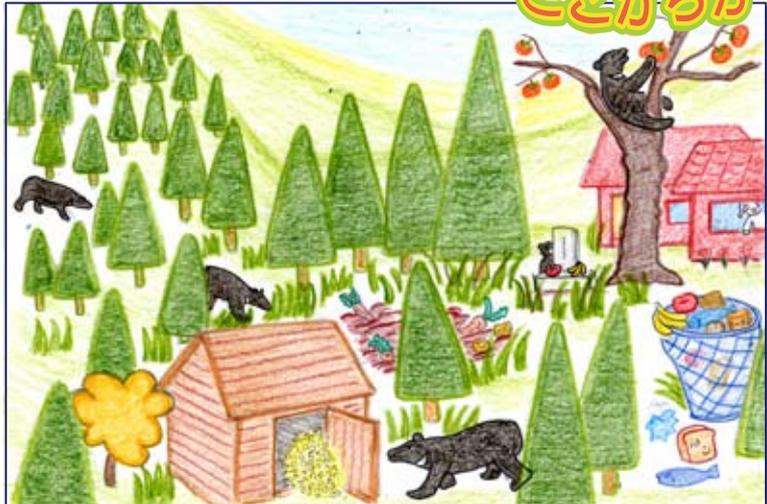
- ・放棄果樹や廃棄された農産物、収穫された農産物の残りが誘引物とならないように、適正に処理する。
- ・農地や養蜂場は、必要な場合には電気柵で囲うなどの対策を行う。

③進入経路の除去

- ・住宅、農地周辺の見通しの悪い藪は刈り払う。



どこがちがうでしょう？



Q クマを見かけたらどうすればいいの？（離れたところにいる場合）

A 離れた所において、クマが気づいていないようなら、慌てず落ち着いて、大声を出さず、クマから目をそらさないようにして、動きを見守りながらゆっくりその場を立ち去りましょう。クマがこちらの存在に気づいているようなら、背を見せず、ゆっくり後退しましょう。

Q もしクマが近づいてきたらどうすればいいの？（こちらに向かってきた場合）

A 背を見せず、ゆっくり後退します。それでも襲ってきたら、クマとの間に障害物がくるようにします。



回避できない場合は、首の後ろを手で覆ってうつぶせになって、顔やお腹などの弱い部分を隠します。クマは食べようと襲うのではなく、ある程度傷つけたら立ち去るので、怪我を最小にするようにします。杭や棒など堅いものを持っているときは、それらを使って立ち向かって撃退した例もありますが、危険が伴います。死んだふりはむしろ危険です。

## 滋賀県のクマ

滋賀県のクマは全てツキノワグマです。日本には北海道にヒグマ（エゾヒグマ）、本州から四国にツキノワグマ（ツキノワグマの日本産亜種）が棲息しています。ツキノワグマは、遺伝的特徴が異なるいくつかの個体群があり、滋賀県には白山・奥美濃地域個体群と北近畿東部地域個体群が棲息しています。



エゾヒグマ



ツキノワグマ

滋賀県版レッドデータブックでは、存続基盤がぜい弱な「希少種」として、掲載されています。

滋賀県では現在（2016年）  
228～364頭の棲息が  
推定されている。



## 滋賀県の取り組み

滋賀県では生息状況把握のため、継続的にモニタリング調査を実施しています。また、堅果類（ドングリ）の豊凶調査により、秋期の餌不足による大量出没の予測を行い、情報提供をしています。さらに、危険性の度合いに応じた対応を整理した出没対応マニュアルを作成するとともに、ツキノワグマの出没情報や対応に関する各種の情報提供を行っています。

（滋賀県自然環境保全課HP. 野生鳥獣の保護管理の推進・狩猟の適正化）

また、各市町においても、ツキノワグマの出没に関する情報提供が行われています。

### クマの出没情報サイト

（大津市）クマの出没に注意してください！！

<http://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/025/1612/g/1390705956292.html>



（米原市）ツキノワグマ目撃情報

[http://www.city.maibara.lg.jp/soshiki/27-3-6-0-0\\_6.html](http://www.city.maibara.lg.jp/soshiki/27-3-6-0-0_6.html)



（高島市）メール配信サービス リアルタイム高島 バックナンバー

<https://service.sugumail.com/takashima/member/portals/>



この他に、長浜市の「安全安心メール配信システム」にご登録いただくと、出没時にメールで情報をお届けします。

## 人家近くで目撃した時!

直ちに警察、市町役場、県森林整備事務所、自然環境保全課に連絡して下さい。  
付近住民等への注意喚起、パトロール等、迅速に対応できます。

### ●連絡すること●

いつ	目撃時刻
どこで	目撃場所
どれだけ	目撃頭数
どこへ行った	移動方向
その他	どれくらいの大きさ 何をしていたか
通報者の情報	氏名、住所、連絡先

指導助言者：村上興正 鳥居春己 高柳敦 福原守 伊藤哲治

イラスト：今森洋輔 河村良子 糟貝あゆみ

デザイン：清水美里

写真提供：名和明 栗田俊栄 河辺裕美子 グリーンウォーカークラブ

# ツキノワグマから身を守るために (春～夏の出没について)

今年も県内においてツキノワグマの出没が予測されます。ツキノワグマから身を守るために以下のことに心がけてください。

## 1. 滋賀県内のツキノワグマについて

- (1) 滋賀県内におけるツキノワグマの主な生息域は、湖北地域・湖西地域・比良山系・鈴鹿山脈で、主な出没地点は、湖西地域と湖北地域の山地と平野部の境界部ですが、平成16年、平成18年、平成22年、平成26年および令和元年の大量出没の状況から類推すると、これ以外の地域にも出没する可能性があります。  
ツキノワグマは国内の数少ない森林性の大型ほ乳類であり、滋賀の豊かな生態系の大切な一員です。
- (2) ツキノワグマは東中国地域、紀伊半島など6つの地域個体群が絶滅の恐れがあるとされており、滋賀県のツキノワグマも「滋賀県で大切にすべき野生生物」（滋賀県レッドデータブック2015年版）で、県内において存続基盤が脆弱な希少種として位置づけられており、被害の防止を図りながらその安定的な生息を図ることが重要です。
- (3) ツキノワグマは、本来は大変臆弱で温厚な動物です。「猛獣」だと思っておられる方もいますが、過度に恐れることはありません。とにかくツキノワグマとの遭遇を少なくすることが、被害の防止につながると考えられます。

## 2. ツキノワグマを引き寄せないために

- (1) 人家のまわりやキャンプ場などは、ゴミだけではなく米ぬかや野菜くずなど餌になるものの管理を徹底してください。墓地の供え物は持ち帰るようにしてください。
- (2) ハイキング、登山、溪流釣りなどで出た生ゴミは必ず持ち帰ってください。
- (3) 人家のまわりで収穫の予定のない柿や栗の実やハチの巣は撤去してください。

## 3. ツキノワグマと遭遇しないために

- (1) ツキノワグマに自分の存在を知らせてください。  
ツキノワグマは、嗅覚や聴覚が人より優れ、人の接近をいち早く察知し、人を避けます。ラジオ、笛、鈴などで音を出して行動してください。
- (2) ツキノワグマがエサをとりにくる林などには極力入らないでください。  
ツキノワグマは明るい場所を避けますので、見通しのよい明るい場所で行動してください。ツキノワグマの糞や足跡などをみつけたら、迂回するか、引き返してください。山菜採りやタケノコ採りは、ツキノワグマも餌を食べに来ている可能性がありますので特に気をつけてください。キイチゴなどの木の実が実っている場所にもできるだけ近づかないようにしてください。
- (3) **早朝や夕方の外出は注意が必要です。**  
ツキノワグマは、人里近くに夕方に出てきて、夜間行動することが多いので、夜間はできるだけ外出しないようにしてください。外出する場合には、単独の行動は避けてください。特に、農作物等の被害がすでにある場所での行動は危険です。

(4) 人家周辺でも注意をしてください。

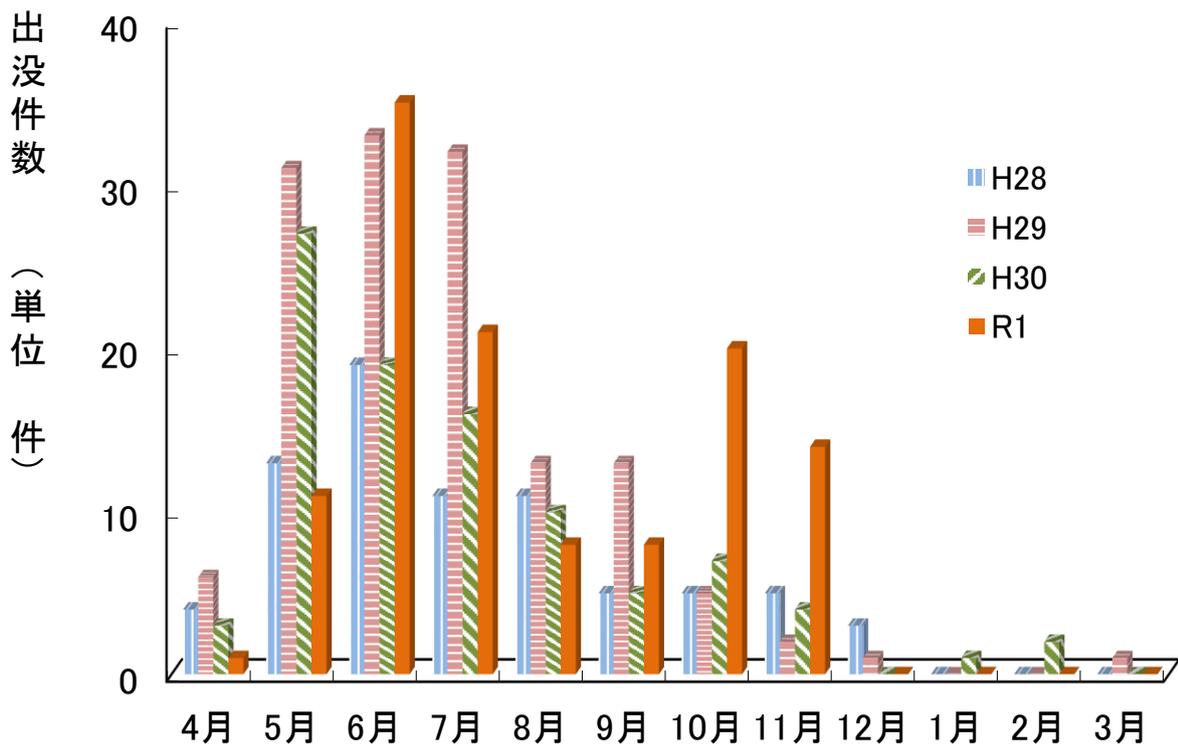
人家周辺でも出沒することがあります。周辺地域で出沒情報がなくても、特に早朝や夕方は常に周囲に注意を払うよう心がけてください。

(5) 子グマを見かけたら、親グマに注意してください。

子グマの近くには親グマがいる可能性が高いので、子グマを見かけた場合は、追い払いをせず、親グマに注意してください。

#### 4. ツキノワグマの出沒状況について

(1) 平成 28 年度～令和元年度にかけての月別出沒状況は以下のグラフのようになっています。



(2) 5月から7月は毎年多数の出沒が報告され、近年は増加傾向にあります。また、この時期に出沒する個体は、まだ状況判断が甘い若い個体であることが多いことが分かっています。

(3) また、令和元年は10月から11月にかけて多数の出沒が報告されました。

(4) これからの初夏は、若い個体が集落近くまでさまよい出てくる可能性がありますので、十分注意してください。

#### 5. 目撃情報は市町または最寄の警察署(110番)、滋賀県へ

(1) 人家近くでツキノワグマを目撃した場合は、直ちに連絡してください。パトロールや集団登下校などの対策が迅速に実施できます。

(2) 提供していただきたい情報は、「目撃場所」「目撃時間」「大きさ」「移動方向」「何をしていたか」などです。